

# 創造産業論

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：講義

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：「創造（クリエイティブ）産業」を概観し、創造性を原資とする新たなムーブメントとは何かを考える。ユネスコ創造都市ネットワークの加盟都市となった札幌において、創造産業の振興は重要なミッションである。現在の世界の状況、日本の状況、北海道の状況を捉え、また、多分野に渡る国内外の注目すべきクリエイティブ・トレンドを紹介しながら、新たなビジネスの可能性を探索する。

■**到達目標**：①創造（クリエイティブ）産業の概念とそれを取り巻く世界の現状を説明できる。  
②他分野に渡るクリエイティブ・トレンドとその技術を説明できる。  
③アイデアをビジネスモデルの基本形へ展開できる。

■**担当教員**：

安田 光孝

■**授業計画・内容**：

- 第1回 創造（クリエイティブ）産業とは何か？
- 第2回 ピケティからみる世界・日本の現状と今後
- 第3回 クリエイティブと教育 -変わる教育の世界
- 第4回 デザイン思考 -変わるデザイナーの領域
- 第5回 シングularity -技術的特異点
- 第6回 ロボットとOS -ペッパー買う？
- 第7回 Makerムーブメント
- 第8回 IoT -モノのインターネット
- 第9回 スマートアグリと北海道
- 第10回 クラウドソーシングとクラウドファンディング
- 第11回 BOPビジネスとソーシャル・アントレプレナー
- 第12回 ゲームチャンジャー -あなたはどうか戦う？
- 第13回 簡単なビジネスアイデアを考えてみよう!1
- 第14回 簡単なビジネスアイデアを考えてみよう!2
- 第15回 簡単なビジネスアイデアを考えてみよう!3

■**教科書**：なし。授業時間に適宜資料配布

■**参考文献**：授業時間に適宜指示する

■**成績評価基準と方法**：小テスト20%、レポート50%、課題30%により総合的に評価します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
小テスト	◎	○		講義内容の理解度	20
レポート	○	◎		アイデアのユニークさ	50
授業態度					
発表					
課題・作品			◎	アイデアのユニークさと論理的な展開	30
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：地場産業振興論、情報社会論、メディアビジネス、コンテンツ流通技術、知的財産権論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：創造（クリエイティブ）産業を概観し、今起こっているクリエイティブなムーブメントをなるべく映像を紹介する形で具体的に見ていきます。世界のクリエイティブなムーブメントを知ることによって、自らの創造活動のヒントとし、また、その活動をビジネス・産業へと発展させていく基礎を指南します。新しい情報を積極的に取り入れていきたいので、トピックが変わる可能性があります。